

居宅介護支援 地域サポート虹

- (1) 事業内容  
 サービス類型(介護保険):居宅介護支援サービス  
 サービス種類:(介護予防) 居宅介護支援  
 事業所名称:居宅介護支援 地域サポート虹  
 事業所番号:1473500633 開設年月日:平成17年10月1日  
 事業者指定有効期間(6年):平成29年10月1日～平成35年9月30日
- (2) 所在地 〒247-0005 横浜市栄区桂町74番17号 サンパレス本郷台107号  
 TEL:045-894-0671 FAX:045-894-0603

- (3) 職員 3名（常勤1名(訪問介護事業所の管理者兼任)、非常勤2名)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者(介護支援専門員兼務)	常勤1名	1名	0.1名
介護支援専門員	常勤兼務1名、非常勤2名	(うち兼務1名)3名	2.5名
(実人数合計)合計		(3名)4名	2.6名

※( )内は兼務数を引いた実人数「(うち兼務〇名)数を引くと実人数」  
 ※常勤換算:週35時間勤務を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/35時間=常勤換算  
 ※管理者はりんどうの管理者も兼任(0.1)

- (4) 契約者数(利用者数) 105名

要介護者	60名	平成30年2月実績52名
予防	45名	平成30年2月実績41名
合計	105名	平成30年2月実績93名

※常勤換算2.5名、常勤換算1.0名あたり44名担当  
 ※ただし予防は1/2なので39.5名  
 ※介護が+8名の予定ですが、施設入所、亡くなる等でマイナスも発生する見込みなので実質は年間で16人(新規受託、または要支援→要介護になる方)の要介護の受託見込み

【月毎の利用者人数】

(単位: 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	53	54	54	55	55	56	56	57	57	58	59	60	674
要支援	41	41	42	42	43	43	44	44	44	45	45	45	519
合計	94	95	96	97	98	99	100	101	101	103	104	105	1193

※月平均、要介護: 56.2名・要支援 43.2名、合計 99.4名

- (5) 運営方針

在宅の介護保険利用者を主として、ご利用者一人ひとりのニーズを捉え、ご利用者の気持ちに寄り添ったケアプランの作成を行う。  
 ご利用者ご本人やご家族の立場に立ったきめ細かい対応が行えるよう、法人内の訪問介護事業所(りんどう)、通所介護事業所(すずらん)、小規模多機能型居宅介護(かりん、くるみ)、また近隣の介護事業所(5ヶ所利用)と連携してケアプランを提供する。  
 今年度は要支援1.2の方は各ケアプラザのコーディネーターと連携し、地域のインフォーマルサービスを入れながら、介護保険サービスを卒業できることも念頭に支援していく。  
 地域のインフォーマルサービスを積極的に利用できるように各ケアプラザ、民生委員との集まりにも参加し今以上に顔がわかる関係を築いていく。  
 年々、老々介護世帯及び、要介護者の独居世帯が多くなる傾向にある中で、在宅生活を支援していくためには、介護支援専門員のより良いケアマネジメントの資質向上が求められている。そのため、栄区医療連携室主

催の研修や、区、ケアプラザの研修にも積極的に参加し、訪問診療の先生、サービス事業所、包括支援センター、地域の方々と顔の見える関係を作っていく。

管理者は主任介護支援専門員のスーパービジョンの勉強会に参加、ファシリテーターを務め、スーパーバイザーとしての役割を果たすよう努める。

事業所内では、「報、連、相」を徹底し、困難事例などは、介護支援専門員全員で検討し、よりよい支援ができるように努めていく。

※在宅での生活継続支援のため、利用者（本人）の話だけではなく、介護者（家族）キーマンのニーズを把握することに日々努め、良質なサービスを提供するために、介護職員が技術、能力の向上に努めること。地域との連携、主治医、看護師、家族と常に連携・相談を行い、できる限り在宅生活が続けられるよう支援を行う。

(6) 営業時間 職員の休日 ※事業所運用規定のとおりとする。

月曜日～金曜日（祝祭日休み）： 9:00～17:00

※休日：土日祝日 12月31日 1月1日2日3日

※休日及び営業時間外は留守番電話の対応

(7) サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部

(8) 利用料金 ※ご利用者は全額公費となり費用は発生しません。利用者負担0円。

※居宅介護支援を提供した場合の利用料の額は、厚生大臣が定める基準によるものとする。

①介護報酬(30年4月に改正)

1ヶ月あたりの料金(収入)	
サービスの内容	単位数(居宅介護支援事業所収入額)
居宅支援I1：要介護1又は要介護2	1042単位の100% (11,587円)
居宅支援I2：要介護3、要介護4又は要介護5	1353単位の100% (15,045円)
初回加算	300単位の100% (3,336円)
居宅支援退院退所加算I1	450単位の100% (5,004円)
居宅支援退院退所加算I2	600単位の100% (6,672円)
小規模多機能型連携加算	300単位の100% (3,336円)

※横浜市地域単価＝11.12円 ※他にも加算があります。

②介護予防(委託費)

1ヶ月あたりの料金(収入)	
サービスの内容	単位数(居宅介護支援事業所収入額)
介護予防支援：要支援1又は要支援2	430単位の80% (4,130円)
初回加算	300単位の80% (2,882円)
連携加算	300単位の80% (2,882円)

※横浜市地域単価＝11.12円

(9) 資金計画 資金収支予算内訳書によるものとする。

(10) 研修計画

①内部研修

実施月	研修内容		
4月	資料整理、マニュアル見直し	8月	倫理規定について
5月	栄区役所、栄ケアネット主催研修	10月	プライバシー保護規定について
6月	集団指導者講習会についての研修	12月	マニュアルの見直しについて
7月	認知症研修	3月	自己評価について

②外部研修

※自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む、費用の援助などを相談検討する。

- ・栄ケアネット研修(年4～5回) ・主任介護支援専門員部会参加
- ・小菅ヶ谷地域ケアプラザケアマネ事例検討会(ハナミヅキ)(年4回)
- ・各ケアプラザ主催の研修参加(月1～2回)

(11) 健康診断

- ・健康診断 3名 12月に実施予定。
- ・インフルエンザ予防接種 3名に実施予定

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※インフルエンザ予防接種年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応

※苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 外部監査等(介護情報公表など)

- ・介護情報公表(書類提出のみ)

(14) 検討課題及びその他

※運営方針に記載済み

訪問介護 りんどう

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):居宅サービス  
 サービス種類:(訪問介護相当サービス) 訪問介護  
 事業所名称:訪問介護 りんどう  
 事業所番号:1473500641 開設年月日:平成17年10月1日  
 事業者指定有効期間(6年):平成29年10月1日～平成35年9月30日

(2) 所在地 〒247-0005 横浜市栄区桂町74番17号 サンパレス本郷台107号  
 TEL:045-894-7783 FAX:045-894-0603

(3) 職員数

18名 常勤2名(うち1名は居宅介護支援事業所管理者兼務)、非常勤16名

職名	勤務形態	登録人数	常勤換算
管理者 (居宅介護支援事業所管理者兼務)	常勤1名	1名 (居宅介護支援事業所兼任)	0.1名
サービス提供責任者 (訪問介護員兼務)	常勤1名	1名	0.5名
訪問介護員	非常勤16名	16名	2.0名
合計		18名	2.6名

※2018年資格 介護福祉士 10名 ヘルパー2級 8名(管理者を除く)  
 ※常勤換算:週32時間を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/32時間=常勤換算

(4) 利用者数 30名 平均年齢:82歳  
 内訳 要介護 10名

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2人	2人	2人	2人	2人

内訳 要支援 20名

要支援1	要支援2
5人	15人

ヘルパー活動目標 : 身体介護1(20分以上30分未満 248単位) 48回  
 身体介護2(30分以上60分未満 388単位) 144回  
 生活支援2(20分以上45分未満 183単位) 0回  
 生活支援3(45分以上 225単位) 192回  
 身体1生活1(身体1+生活2 312単位) 192回  
 身体1生活2(身体1+生活3 379単位) 144回  
 身体2生活1(身体2+生活2 455単位) 0回

ヘルパー総活動目標時間数 : 43,200時間 ※要介護のみ

【月毎の利用者人数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	10	10	10	10	11	11	11	11	12	12	12	12	132
要支援	20	20	20	20	19	19	19	19	18	18	18	18	228
合計	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360

※月平均、要介護:10名・要支援20名、合計30名

(5) 運用方針

地域の介護保険利用者を主として、住み慣れた家での生活を続けていただけるようお手伝いをするを目標とし活動する。事業の実施に当たっては、関係市町村、包括支援センター、地域の保健・福祉サービスとの連携をはかり、サービスの提供に努めるものとする。

良質なサービスを提供するため、利用者・介護者（ご家族およびキーマン）両者のニーズを把握するとともに、事業所内外の研修に積極的に参加し、介護技術、能力を高めていく。

また、要支援の方や院内の介助など介護保険外の自費サービスも積極的に受けていく。

ヘルパー募集広告の写真やホームページの写真を更新し良い雰囲気が伝わり興味を持っていただけるよう努力する。

(6) 営業時間 職員の休日 ※事業所運用規定のとおりとする。

事務所活動時間 : 月曜日～金曜日（祝祭日休み）: 9:00～17:00

ヘルパー活動時間 : 月曜日～金曜日 : 8:00～17:00

※休日及び時間外は留守番電話の対応。

(7) サービス提供地域 横浜市栄区・港南区(但し、港南区は日野南5丁目から7丁目のみ)

(8) 資金計画 資金収支予算内訳書によるものとする。

(9) 利用料金 厚生大臣が定める基準によるものとし、法定代理受理サービスであるときは、その1割から3割額とする。

「支出:ヘルパー時給」	「収入:介護報酬」(単位×11.12円)
身体介護 : ￥1,600	394単位 = ￥4,381
生活援助 : ￥1,200	223単位 = ￥2,479
訪問型サービス : ￥1,200	1168単位(1ヶ月) = ￥12,988

※平均時給額 : ￥1,560 (総支払給与額÷延べサービス提供時間・事務含まず)

(10) 研修計画 事業所は、利用者・介護者両者のニーズを把握し、従業者の質的向上を図るための研修会を次のとおり設け、実施する。実施予定日は、シフトを考慮して決定する。

①採用時研修 採用後1ヶ月内、新たに訪問することになった利用者宅への訪問同行時、ヘルパーとしての心構えと、介護技術の確認と指導を行う。

②内部研修

実施月	内容	実施月	内容
4月	訪問介護の心得 (個人情報保護・法令順守を含む) 訪問介護に関する各種記録の書き方 その他 連絡事項	10月	身体介護の介護技術とボディメカニクス その他 ヒヤリハットの報告・連絡事項
6月	感染症と食中毒の予防・防止について (事例検討含む) 訪問介護に関する各種記録の書き方について その他 ヒヤリハットの報告・連絡事項	12月	認知症について ヒヤリハット報告・連絡事項
9月	事故発生防止と緊急対応・リスク管理について ヘルパー自己チェック その他 ヒヤリハットの報告・連絡事項	2月	高齢者虐待について ヒヤリハット報告・連絡事項

③外部研修

※自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む、費用の援助などを相談検討する。

- ・認知症介護基礎研修(1日):3名
- ・栄区訪問介護連絡会: 総会・研修
- ・集団指導講習会
- ・その他 スキルアップのための研修会の知らせをこまめに確認し、随時周知する。

(介護福祉士研修・認知症介護実践者研修・痰吸引研修等)

(11) 健康診断等

- ・健康診断 1名 6月に実施予定。
- ・インフルエンザ予防接種 10名に実施予定

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※インフルエンザ予防接種年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応

※苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 外部監査等(介護情報公表など)

なし

(14) 検討課題及びその他

- ①利用者の獲得:1人暮らしで訪問介護(ヘルパー)が必要な方々も居られるので、これからは需要がないわけではないと考えるが、「新規依頼の多くが、既に90代と高齢で長期利用に繋がりにくい」また、「加齢にともない介護度が重度化、認知症状が進行し、在宅での介護が困難となり、施設への入所になるケースが増えている」傾向にある。実際に現りんどう利用者も90代の高齢方が増えており、運用としては70代80代の長期に繋がる利用者を獲得したい。そのためには、介護保険(訪問介護、ヘルパー)をもっと知っていたき、本当に必要な方々に支援していきたい。
- ②介護従事者(職員の獲得):ヘルパー募集の問い合わせが数ヶ月全く無い。ベテランヘルパーの定年が近づいているので、募集広告が多くの方の目に付くよう考え工夫し、登録ヘルパーを増やしたい。



(5) 運営方針

ご利用者の方々に、心身のよりよい状態を維持していただけるよう、ご利用者とご家族と居宅介護支援事業所と常に連携を図りサービスを実施する。曜日ごとの特徴を生かし、豊富なプログラムを組み合わせる。ご利用者の希望に沿った活動を楽しみ参加できるように努めていく。安心して入浴出来る設備とサポート体制で地域の方々のご要望に対応していく。介護職員も同じ地域に住むヘルパーを中心に、ボランティアの方にも加わっていただき、各種プログラムの講師も地域の方をお願いするなど、地域とのつながりを大切に、心のこもったサービスを実施することを目標とする。介護職員の勉強会を実施し、質の向上を目指す。新規利用者の確保のための営業活動も行っていく。

(6) 営業時間 ※職員の休日、就業規則のとおりとする。

- ・サービス提供時間(月曜日～金曜日(祝祭日休み))10:00～15:30(5時間以上サービス区分)
- ・営業時間(月曜日～金曜日(祝祭日休み))8:30～16:30

※休日:土日祝日 12月31日、1月1日2日3日

※休日及び営業時間外は留守番電話の対応

※4月27日(土)～5月6日(月)までの10日間の大型連休について、4月29日(月)、5月3日(金)、5月6日(月)の3日間営業する。

(7) サービス提供地域 横浜市栄区、港南区、戸塚区

(8) 利用料金

※厚生大臣が定める基準によるものとし、法定代理受領サービスであるときは、その1割～3割の額とする。

①介護報酬 小規模型通所介護費(1回につき) (5時間～7時間未満)

1回利用あたりの料金(収入)		
サービスの内容	単位数(1割)(2割)(3割)	内容
要介護1	641単位(688円)(1,375円)(2,062円)	1日につき
要介護2	757単位(812円)(1,623円)(2,435円)	1日につき
要介護3	874単位(937円)(1,874円)(2,811円)	1日につき
要介護4	990単位(1,062円)(2,123円)(3,184円)	1日につき
要介護5	1,107単位(1,187円)(2,374円)(3,561円)	1日につき
入浴介助加算	50単位(54円)(108円)(161円)	1回につき
サービス提供体制強化加算(I)イ	18単位(20円)(39円)(58円)	1日につき
送迎減算	-41単位/片道(-51円)(-101円)(-151円)	片道につき

※横浜市地域単価(2級地)=10.72円 ※他にも加算があります。

※2018年8月より3割負担導入

②介護予防 介護予防通所介護費(1月につき)

1ヶ月あたりの料金(収入)		
サービスの内容	単位数(1割)(2割)(3割)	内容
要支援1	1,647単位(1,766円)(3,531円)(5,297円)	1月につき
要支援2(週1回程度)	1,647単位(1,766円)(3,531円)(5,297円)	1月につき
要支援2(週2回程度)	3,377単位(3,621円)(7,241円)(10,861円)	
運動器機能向上加算	225単位(242円)(483円)(724円)	1月につき
サービス提供体制強化加算(I)イ 要支援1	72単位(78円)(155円)(232円)	1月につき
サービス提供体制強化加算(I)イ 要支援2	144単位(155円)(309円)(463円)	1月につき

※横浜市地域単価(2級地)=10.72円 ※他にも加算があります。

※2018年8月より3割負担導入

③介護職員処遇改善加算(1月につき)

1ヶ月あたりの料金(収入)	
サービスの内容	内容
介護職員処遇改善加算(I)	(介護報酬総単位数×5.9%(0.059))×10.72円



(9) 資金計画 法人の「資金収支予算内訳」によるものとする。

(10) 年間行事計画

実施月	イベント内容		
4月	お花見	10月	秋の散策
5月	節句 運営推進会議	11月	栄区作品展 運営推進会議
6月	室内レクリエーション	12月	クリスマス会 ご家族参加イベント
7月	七夕	1月	正月遊び
8月	夏祭り	2月	節分遊び
9月	防災訓練	3月	ひな祭り

※誕生会として、各月の該当月生まれの方をお祝いする。(写真入りメッセージカードのプレゼント)

※毎月季節感ある手芸作品の作成。11月末から年末にかけて、来年の干支(押絵)の作品の作成。

※運営推進会議に向けて準備および実施(6ヶ月毎に開催)

(11) 研修計画 事業所は、従業員の質的向上を図るため、月1回のミーティング時にテーマを決め勉強会を行うこととする。また、法人内の研修、区の研修など積極的に参加することとする。

①採用時研修 採用後一ヶ月以内 継続研修およびケース会議毎月1回

②内部研修

実施月	研修内容		
4月	入浴介助	10月	トイレ介助と排泄管理
5月	個人情報、プライバシー保護	11月	感染症と食中毒&その予防について
6月	倫理規程および法令遵守について	12月	事故発生予防等、緊急時の対応について
7月	非常災害時について	1月	身体拘束・高齢者虐待について(※新規)
8月	認知症	2月	業務マニュアル及び各マニュアルの見直し
9月	防災訓練について	3月	来年度の計画について

※高齢者施設における虐待について一斉点検(アンケート)の実施

③外部研修

※自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む、費用の援助などを相談検討する。

- ・認知症介護基礎研修 2名
- ・認知症介護実践者研修 1名
- ・感染症研修 1名

(12) 健康診断等

・健康診断 2名 6月に実施予定。

・インフルエンザ予防接種 19名に実施予定

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※インフルエンザ予防接種年1回費用負担3,000円/1人

(13) 苦情・相談対応

※苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(14) 介護サービス情報の公表等

・介護サービス情報の公表、毎年7月以降に通知があり、書面調査を対応する。

※訪問調査2年~3年毎実施(平成27年に実施済)

・運営推進会議 6ヵ月毎 年2回 実施活動報告及び活動の改善について会議をおこなう。

メンバー:栄区高齢支援課職員または包括支援センター職員、自治会役員、民生・児童委員、地域ボランティア、利用者ご家族

※平成27年度から外部評価の実施方法が変更となった。

事業所で行った「自己評価」を、運営推進会議のメンバーから評価を受ける。

(15) 検討課題

① 新規契約者の獲得(栄区桂町および小菅ヶ谷ケアプラザ、中野ケアプラザ圏域、他法人の居宅介護支援事業所)新規利用者の確保のための営業活動も行っていく。

- ②ホームページ、パンフレット等の見直しと随時更新を図る。
- ③ 4月27日(土)から5月6日(月)までの10連休について、4月29日(月)、5月3日(金)、5月6日(月)の3日間の営業を実施する。居宅介護支援事業所およびご家族へ周知し、ご利用者の確保を図る。
- ④ 1日利用者平均13名を目標とし、ショートステイ利用時等の空席に対し、振替えや臨時利用を希望する居宅支援事業所等へ提案する。
- ⑤ 年1回の消防設備点検結果報告書を提出する。
- ⑥ 今後の祝日、土曜日の営業については、利用者の要望等の確認や職員の配置等の検討を継続。
- ⑦ 地域に住むボランティアの方々へにずらんへの参加を継続していき、広報活動や地域の方々への周知活動につなげていく。
- ⑧ 古い入口の看板(サロンずらんなど)を新しく取り換える。
- ⑨ 地域密着型通所介護となり、外部の質の向上セミナー研修など積極的に参加していく。
- ⑩ 職員の人員体制確保により、個別機能訓練加算の体制を整え加算に向けて検討する。その他の加算(ADL維持等加算)についても検討していく。

グループホーム さくらそう

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):地域密着型サービス  
 サービス種類:(介護予防) 認知症対応型共同生活介護  
 事業所名称:グループホーム さくらそう  
 事業所番号:1493100067 開設年月日:平成19年12月1日  
 事業者指定有効期間(6年):平成25年12月1日～平成31年11月30日  
 ※平成31年9月13日までに指定更新申請を完了予定

(2) 所在地 〒234-0054 横浜市港南区港南台1-10-8 TEL/FAX 045-830-5277

(3) 職員 14名(男性3名、女性11名)(常勤3名(うち1名短時間正社員32時間)、非常勤11名)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者 (介護職員兼務)	常勤兼務1名	(1名兼務) 1名	0.5名
計画作成担当者 (介護職員兼務)	常勤兼務(短時間正社員)1名 非常勤兼務1名	(2名兼務) 2名	0.2名
看護師 (介護職員兼務)	非常勤兼務1名	(1名兼務) 1名	0.1名
介護職員	常勤3名・非常勤8名	(うち兼務4名)11名	5.8名
合計(実人数合計)		15名(12名)	6.6名

※(うち兼務〇名)数を引くと実人数

※介護支援専門員:2名、介護福祉士:3名、ヘルパー1級:1名、ヘルパー2級:8名、准看護師:1名

(4) 利用者数 定員6名 利用者6名(満床) (男性 0名、女性6名)

要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0名	0名	0名	2名	2名	2名

※平均年齢:85.8歳 (82歳、84歳、84歳、86歳、88歳、91歳)

※年間稼働率97.7% (空室1部屋のみ50日目標:退所時、入院時)

(5) 運営方針

本事業は、認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境の下で、食事、入浴、排泄等の日常生活の介護及び日常生活の中での心身等の機能訓練及び作業療法を行うことにより、安心と尊厳のある生活を、利用者がその有する能力に応じ可能な限り自立して営むことが出来るよう支援することを目的とする。閉鎖的ではなく開放的に環境、家庭的な雰囲気、季節感を大事にし、寄り添い中心した介護、介助を行い、ターミナルまでできる限りの対応を行う。

※利用者(本人)の話だけではなく、介護者(家族)を含むニーズを把握することに日々努め、良質なサービスを提供するために、介護職員が技術、能力の向上に努めること。

※外部の人間の出入りを積極的に行う。家族を中心に、ボランティア、研修生の受け入れを積極的に行い、開放的な環境をつくり、スタッフは質の向上を意識する。

※職員が多くが地域の主婦で構成し、地域性、家庭的な雰囲気を、メリットと意識し運用。

※主治医、看護師、家族と連携相談を行い、できる限りターミナルを意識し運用。

(6) 営業時間(年中無休) 24時間 365日(年中無休) ※職員の休日、就業規則のとおりとする。

(7) ご入居条件

認知症と診断されている方で、介護保険の要支援2以上の方  
 少人数による共同生活を営むことに支障がないこと。

自傷他害の恐れがないこと。  
 常時医療機関において治療をする必要のないこと。  
 ※医師の診断書が必要です。※横浜市に住民票がある方。

(8) 利用料金(収入内訳)

- ① 介護保険の一割または二割負担分(月額) ※厚生大臣が定める基準による  
 要支援 2:24,281円/48,562円 要介護 1:24,410円/48,820円 要介護 2:25,568円/51,135円  
 要介護 3:26,307円/52,614円 要介護 4:26,854円/53,708円 要介護 5:27,401円/54,801円
- ② 各種加算 月額(1ヶ月あたり) ※厚生大臣が定める基準による  
 医療連携体制加算:1,254円/2,508円  
 認知症対応サービス提供加算:192円/384円  
 認知症対応型認知症専門ケア加算:96円/192円  
 認知症対応処遇改善加算Ⅰ: 所定単位数の1000分の83に相当する単位数  
 初期加算(初回利用日から30日間):963円/1926円
- ③ 保険外の費用(月額)  
 ・家賃:70,000円～83,000円 ・食材費:36,000円 ・光熱水費:17,000円 ・共益費:15,000  
 ・その他実費費用:レクリエーション材料費や参加費:実費(本人およびご家族の希望を確認し徴収)  
 日常的必要と思われる費用(利用者希望で生じた場合 実費で徴収)
- ④ 入居時費用  
 入居金 276,000円～302,000円  
 ※③の保険外の費用(月額138,000円～151,000円)×2ヶ月分 ※数金的な費用です。

(9) 資金計画 資金収支予算内訳書によるものとする。

(10) 研修及び行事

研修 事業所は、従業員の質的向上を図るための研修会を次のとおり設け、業務体制を整備する。

- ① 採用時研修 採用後1ヶ月以内 ケース会議 毎月1回
- ② 内部研修

実施月	研修内容	
4月	介護技術と基本 移動,食事,清拭 ※介護術(西東社)	10月 感染症予防・食中毒(インフルエンザ、ノロウイルス)※大量調理施設衛生管理マニュアル 声掛けの技法 自主的夜間想定避難訓練
5月	介護技術基本 緊急時対応と健康管理 ※介護術(西東社)	11月 家族や医療や看護の連携について
6月	老化と病気 夜間想定避難訓練	12月 守るべき義務と倫理(介護者として)
7月	身体拘束について ※身体拘束ゼロへの手引き ※身体的拘束等の適正化の指針見直し ※身体的拘束等の実施時の記録確認	1月 虐待はなぜおこるのか (身体拘束について) ※自己点検シート(職員用・管理者用) ※横浜市高齢者虐待防止事業指針
8月	認知症 介護保険のしくみ・症状について ※これでわかる認知症(杉山孝博) ※さくらそうパンフレット	2月 行事を見直して新しいレクリエーションを考える
9月	緊急時対応(心臓マッサージ等実施訓練) ※結核予防週間9月24日から30日 ※結核の常識2018(横浜市リーフレット)	3月 意欲を高める言葉(自身と他者へ)

③外部研修

- ※自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む、費用の援助などを相談検討する。
- ・6月:横浜市地域密着型サービス質の向上セミナー(管理者1名・介護職員1名)※指定更新のための研修
- ・認知症介護基礎研修2名
- ・認知症介護実践者研修2名
- ・喀痰吸引研修1名
- ・感染症研修1名
- ・認知症、虐待、事故防止研修:1名

- ・横浜市港南区役所 感染症対策指導者養成研修会:1名
- ・横浜市地域密着型サービス事業者等集団指導講習会:1名

行事計画

実施月	イベント内容		
4月	お花見(北公園)	10月	運動会(自治会イベント)
5月	子供の日(自治会イベント:北公園)	11月	芋掘り 防災訓練(自治会イベント:北公園) 自主的夜間想定避難訓練
6月	七夕かざり 夜間想定避難訓練	12月	クリスマス会
7月	夏祭り(自治会イベント:北公園)	1月	正月 獅子舞
8月	納涼会	2月	豆まき
9月	敬老の日(自治会イベント)	3月	ひな祭り

※誕生日会は、各月に原則として1回実施。当該月生まれの方をお祝する ※誕生日ケーキをおやつにする

(11) 健康診断等

- ・健康診断 5名 6月・12月に実施予定。
- ・インフルエンザ予防接種 14名に実施予定

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※夜勤職員は健康診断年2回実施

※インフルエンザ予防接種年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応

※苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 外部監査等(介護情報公表など)

- ① 6月 外部評価(第三者評価機関:R-CORPORATION)
- ② 提出期限9月13日:事業所の指定更新申請(横浜市介護指導課)(6月2名研修受講)
- ③ 10月 神奈川県介護サービス情報の公表対応
- ④ 運営推進会議を年6回(2ヶ月に1回)を目標に実施(結果を事業所内に掲示する。)
- ⑤ 身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を④運営推進会議内に開催(2ヶ月に1回)
- ⑥ 介護相談員受入(港南区役所) 年6回(2ヶ月に1回)

(14) 検討課題及びその他

- ①老朽化による修繕費用の検討。PWクロス網入ガラス等、エレベーター消耗部品交換等

小規模多機能型居宅介護 かりん

(1) 事業内容

サービス類型(介護保険):地域密着型サービス  
 サービス種類:(介護予防) 小規模多機能型居宅介護  
 事業所名称:小規模多機能型居宅介護 かりん  
 事業所番号:1493500126 開設年月日:平成21年12月1日  
 事業者指定有効期間(6年):平成27年12月1日~平成33年11月30日

(2) 所在地 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 3-62-2 TEL/FAX :045-895-6006

(3) 職員 20名

(男性4名、女性16名) (常勤6名(うち1名、短時間正社員32時間)、非常勤14名)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者 (計画作成担当者、介護職員兼務)	常勤兼務 1名	(1名兼務) 1名	0.5名
計画作成担当者 (介護職員兼務)	常勤兼務 2名	(1名兼務)(うち兼務1名) 2名	0.4名
看護職員 (介護職員兼務)	常勤兼務 1名	(1名兼務) 1名	1.0名
介護職員	常勤兼務3名、常勤3名、 非常勤兼務1名、非常勤13名 (常勤のうち短時間正規職員、1名)	(うち兼務4名) 20名	10.0名
事務職員 (介護職員兼務)	非常勤 1名	(1名兼務) 1名	0.5名
(実人数合計)合計		(20名)25名	12.4名

※( )内は兼務数を引いた実人数

※(うち兼務〇名)数を引くと実人数

※常勤換算:週40時間勤務を常勤と定め、週の合計勤務時間の平均/40時間=常勤換算

※介護支援専門員:2名、介護福祉士:6名、看護師:1名、ヘルパー2級:14名、理学療法士:1名、無資格:3名

(4) 利用者定員 24名

登録利用者 17名 (男性3名、女性14名) 平均年齢:86.9歳(67歳~95歳)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2名	2名	2名	3名	3名	3名	2名

※ご利用者登録定員24名 デイサービス定員15名 ショート定員7名(緊急時9名)

【月毎の利用者人数】

(単位: 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	162
要支援	3	3	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4	42
合計	16	16	16	17	17	17	17	17	17	18	18	18	204

※月平均、要介護: 13.5名・要支援 3.5名、合計 17名

(5) 運営方針:利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望およびその置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス、及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、妥当適切に行う。事業者は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者がそれぞれの役割を持って家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるよう配慮して行う。

※在宅での生活継続支援のため、利用者(本人)の話だけではなく、介護者(家族)キーマンのニーズを把握することに日々努め、良質なサービスを提供するために、介護職員が技術、能力の向上に努めること。地域との連携、

主治医、看護師、家族と常に連携・相談を行い、できる限り在宅生活が続けられるよう支援を行う。

・外部の人間の出入りを積極的に行う。地域ボランティアの受け入れを積極的に行い、開放的な環境をつくり、スタッフは質の向上を意識する。・職員の多くが地域住民で構成され、地域密着型サービスとしての特性を活かし家庭的な温かい雰囲気運営していく。・認知症介護の相談窓口として地域に貢献していく・主治医、看護師、家族と常に連携相談を行い、在宅で生活できる限り支援していく。

(6) 営業時間(年中無休) ※職員の休日、就業規則のとおりとする。

- ① 通いサービス 原則9:00～17:00
- ② 訪問サービス 原則9:00～17:00※緊急時24時間対応可能
- ③ 宿泊サービス 17:00～翌9:00

(7) サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部

※原則として生活圏域(中学校区 施設から2～3km圏内)

(8) 利用料金(収入内訳) ※厚生労働大臣が定める基準によるものとする

- ① 介護保険の一割または二割負担分 月額 ※厚生大臣が定める基準による  
 要支援1:3,703 円/ 7,405 円 要支援 2:7,483 円/14,965 円・要介護1:11,229 円/22,457 円 要介護 2:16,502 円/33,004 円  
 要介護 3 :24,004 円/48,007 円 要介護 4:26,493 円/52,986 円 要介護 5 :29,212 円/58,424 円
- ② 各種加算 月額(1ヶ月あたり) ※厚生大臣が定める基準による  
 総合マネジメント体制強化加算:一割負担 1,088 円/二割負担 2,176 円  
 サービス提供体制強化加算Ⅲ:381 円/762 円  
 処遇改善加算Ⅰ: 393 円～2,397 円/786 円～4,794 円(当月適用単位をもとに計算)  
 認知症加算(該当者のみ) 加算Ⅰ:871 円/1,741 円 加算Ⅱ:544 円/1,088 円  
 初期加算(初回利用日から30日間):一日あたり33 円/66 円
- ③ 保険外の費用  
 食費:朝食 350 円 昼食 650 円 夕食 650 円 ・宿泊費:一泊 3,000 円  
 レクリエーション材料費や参加費:実費(本人およびご家族の希望を確認し徴収)  
 ※ その他、日常的必要と思われる費用(利用者希望で生じた場合 実費で徴収)

(9) 資金計画 資金収支予算内訳書によるものとする。

(10) 研修報告および年間イベント報告

研修報告 内部研修

実施月	研修内容		
4月	トイレ介助と排泄、介護上の注意点 ※介護術(西東社)	10月	感染症・食中毒(インフルエンザ・ノロウイルス) ※大量調理施設衛生管理マニュアル ※喀痰吸引・経管栄養研修テキスト
5月	口腔ケア、健康管理 ※介護術(西東社)	11月	個人情報保護・プライバシー保護、高齢者の栄養
6月	リハビリ体操、転倒予防、多発性脳梗塞 ※介護術(西東社)	12月	リスク管理、ヒアリング、事故報告書 ※喀痰吸引・経管栄養研修テキスト
7月	緊急時の対応(救急) 重度化(看取り)への対応、家族支援	1月	身体拘束、高齢者虐待 ※自己点検シート(職員用・管理者用) ※身体拘束ゼロへの手引き ※横浜市高齢者虐待防止事業指針
8月	認知症について ※これでわかる認知症(杉山孝博)	2月	避難訓練・防災訓練 緊急時の対応(消防) ※地域の防災・減災活動を学ぶための冊子
9月	サービスの質の向上・自己評価 ※結核予防週間9月24日から30日 ※結核の常識2018(横浜市リーフレット)	3月	外部評価・次年度の検討課題・研修計画作成 ※小規模多機能型居宅介護のご案内 ※かりんパンフレット

研修報告 外部研修

※自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む、費用の援助などを相談検討する。

・認知症介護基礎研修2名、認知症介護実践者研修1名・喀痰吸引研修2名

実施月	研修内容		
4月	栄ケアネット 定例会・研修 地域包括での研修	10月	地域包括での研修
5月	地域包括での研修	11月	地域包括での研修
6月	栄消防署立入調査 地域包括での研修	12月	地域包括での研修
7月	地域包括での研修	1月	地域包括での研修
8月	地域包括での研修	2月	横浜市地域密着型サービス指導講習会 地域包括での研修
9月	地域包括での研修	3月	地域包括での研修

イベント報告（避難訓練等含む）

実施月	イベント内容		
4月	お花見(小菅ヶ谷幼稚園) 小菅ヶ谷第3公園・本郷台駅周辺 かりんカフェ(第3金曜日)	10月	小山台中学校文化祭出品・見学 ハロウィーン(学童風の子クラブ来訪) かりんカフェ(第3金曜日)
5月	端午の節句(しょうぶ湯) 大船フラワーセンター かりんカフェ(第3金曜日)	11月	栄区シニア展出品・見学 芋ほり 学童かぜの子まつり かりんカフェ(第3金曜日)
6月	夜間想定避難訓練 消防署の査察 かりんカフェ(第3金曜日)	12月	避難訓練 クリスマス会 かりんカフェ(第3金曜日)
7月	町内会夏祭り かりんカフェ(第3金曜日)	1月	書初め 町内会サイト焼き かりんカフェ(第3金曜日)
8月	かりん夏祭り かりんカフェ(第3金曜日)	2月	節分 地震、火災避難訓練 かりんカフェ(第3金曜日)
9月	敬寿会&家族会 町内会秋祭りおみこし見学 かりんカフェ(第3金曜日)	3月	小菅ヶ谷第1町内会震災時安否確認訓練 かりんカフェ(第3金曜日)

※誕生会は、各利用者の誕生日に近い利用日にお祝いする。おやつに誕生日ケーキをお出する。

※かりんカフェ開催、毎月第3金曜日13:30～15:00 小菅ヶ谷町内会回覧板、掲示板にて告知する。地域の方々との交流を目的に毎月開催しています。将来の介護の不安等、介護のお悩み、一人暮らしの親の介護相談、認知症介護相談など、承ってます。

(11) 健康診断等

・健康診断 10名 5月・11月に実施予定。

・インフルエンザ予防接種 20名に実施予定

※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人

※夜勤職員は健康診断年2回実施

※インフルエンザ予防接種年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応 苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 外部監査等(介護情報公表など)

① 運営推進会議 2ヵ月毎 年6回実施活動報告及び活動の改善について会議をおこなう。

② 外部評価:事業所で行った「自己評価」を、運営推進会議内にてメンバーから評価を受け、後日総括表を作成する。

③ 介護サービス情報の公表制度、毎年1回、介護サービス情報を指定情報公表センターに報告。

(14) 検討課題及びその他

①開所10年目となり、湯沸し器や入浴用のリフトのメンテナンス、入替え等、要検討



### 小規模多機能型居宅介護 くるみ

- (1) 事業内容  
 サービス類型(介護保険):地域密着型サービス  
 サービス種類:(介護予防) 小規模多機能型居宅介護  
 事業所名称:小規模多機能型居宅介護 くるみ  
 事業所番号:1493500134 開設年月日:平成22年4月1日  
 事業者指定有効期間(6年):平成28年4月1日～平成34年3月31日

- (2) 所在地 〒247-0008 横浜市栄区本郷台4-28-12 TEL/FAX 045-893-7517

- (3) 職員 20名 (男性3名、女性17名) (常勤1名、非常勤19名)

職名	勤務形態	人数	常勤換算
管理者 (計画作成担当者、介護職員兼務)	常勤兼務 1名	(兼務1名) 1名	0.5名
計画作成担当者 (事務職員、介護職員兼務)	常勤兼務 1名・非常勤兼務 2名	(2名兼務)(うち兼務1名) 3名	0.5名
看護職員	非常勤兼務 3名	(兼務3名) 3名	1.0名
介護職員	常勤兼務1名、 非常勤兼務5名、非常勤13名	(うち兼務6名) 19名	6.5名
事務職員 (介護職員兼務)	非常勤兼務1名 非常勤1名	(うち兼務1名) 2名	0.4名
(実人数合計) 合計		(20名) 28名	8.9名

※( )内は兼務数を引いた実人数

※うち兼務数を引くと実人数

※常勤換算:常勤勤務時間週40時間=1名で設定 ※計画作成担当者(介護支援専門員)は3名設置 うち1名は管理者兼務

※資格保持状況:介護支援専門員3名、介護福祉士9名、ヘルパー1級1名、ヘルパー2級3名、正看護師1名、准看護師1名、無資格4名

- (4) 利用者数  
 登録利用者 17名 (男性2名・女性15名) 平均年齢:84.0歳(66歳～94歳)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2名	2名	4名	4名	3名	2名	1名

※ご利用者登録定員24名 デイサービス定員12名 ショート定員4名

【月毎の利用者人数】

(単位: 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	162
要支援	3	3	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4	42
合計	16	16	16	17	17	17	17	17	17	18	18	18	204

※月平均、要介護: 13.5名・要支援 3.5名、合計 17名

- (5) 運営方針

利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望およびその置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス、及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、妥当適切に行う。事業者は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者がそれぞれの役割を持って家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるよう配慮して行う。

※在宅での生活継続支援のため、利用者(本人)の話だけではなく、介護者(家族)キーマンのニーズを把握することに日々努め、良質なサービスを提供するために、介護職員が技術、能力の向上に努めること。地域との連携、主治医、看護師、家族と常に連携・相談を行い、できる限り在宅生活が続けられるよう支援を行う。訪問医療を利用する利用者も増えており、診療時に同席して情報交換、共有し、随時FAX等で報告するなど、顔の見える関係作りを続けていく。

※自宅や事業所で体調が急変し、救急対応が必要となるケースが増えている。家族、主治医、救急病院と連携し、臨機応変な対

応と家族支援を行う。

※行政、地域包括支援センター等と常に連携し、在宅の継続が困難となった場合や緊急対応が必要な際には、本人が必要な支援を受けられるよう速やかな対応を行う。

※民生委員や近隣住民と情報交換し、独居利用者の見守りや徘徊時の協力体制を確認する。見守りネットワークへの登録や、徘徊時に事業所へ連絡をしてもらう等の協力が引き続き得られるよう努める。

※地域ボランティアの受入れを積極的に行い、地域に開かれた環境を作る。スタッフは質の向上を意識して業務にあたる。

※運営推進会議での関わりをもとに、自治会や地域機関との連携をはかる。今後、自治会の防災担当者と連携し、夜間想定避難訓練の防災活動について協力を得られるよう進めていきたい。

(6) 営業時間(年中無休) 職員の休日 ※就業規則のとおりとする。

- ① 通いサービス 原則9:00～17:00
- ② 訪問サービス 原則9:00～17:00※緊急時24時間対応可能
- ③ 宿泊サービス 17:00～翌9:00

(7) サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部

※原則として生活圏域(中学校区 施設から2～3km圏内)

(8) 利用料金(収入内訳)

- ① 介護保険の一割または二割または三割負担分(月額) ※厚生大臣が定める基準による  
 要支援1:一割負担 3,703円/二割負担 7,405円/三割負担 11,108円 要支援2:7,483円/14,965円/22,447円  
 要介護1:11,229円/22,457円/33,685円 要介護2:16,502円/33,004円/49,505円  
 要介護3:24,004円/48,007円/72,011円 要介護4:26,493円/52,986円/79,479円  
 要介護5:29,212円/58,424円/87,636円
- ② 各種加算 (月額) ※厚生大臣が定める基準による  
 総合マネジメント体制強化加算:一割負担 1,088円/二割負担 2,176円/三割負担 3,264円  
 サービス提供体制強化加算(Ⅰ)ロ :544円/1,088円/1,632円  
 処遇改善加算Ⅰ: 393円～2,397円/786円～4,794円/1,179円～7,191円 (当月適用単位をもとに計算)  
 認知症加算(該当者のみ) 加算Ⅰ:871円/1,741円/2,612円 加算Ⅱ:544円/1,088円/1,632円  
 初期加算(初回利用日から30日間):一日あたり33円/66円/98円
- ③ 保険外の費用  
 食費:朝食 350円 昼食 650円 夕食 650円 ・宿泊費:一泊 3,000円  
 レクリエーション材料費や参加費:実費(本人およびご家族の希望を確認し徴収)  
 ※その他、日常的必要と思われる費用(利用者希望で生じた場合 実費で徴収)

(9) 資金計画 資金収支予算内訳書によるものとする。

(10) 研修計画および年間イベント計画

研修計画 内部研修(予定)

実施月	研修内容		
4月	倫理および法令順守、リスク管理 個人情報・プライバシー保護	10月	感染症予防・食中毒(インフルエンザ、ノロウィルス)※大量調理施設衛生管理マニュアル
5月	マナー・接遇、排泄・入浴介助 ※介護術(西東社)	11月	リハビリ体操・転倒予防、移動介助 ※介護術(西東社)
6月	認知症介護 パーソンド・センター・ケア ※これでわかる認知症(杉山孝博)	12月	緊急時の対応(消防)、災害時の対応 ※地域の防災・減災活動を学ぶための冊子
7月	食事介助、栄養・水分補給の工夫	1月	小規模多機能とは 介護・医療・地域との連携 ※小規模多機能型居宅介護のご案内 ※くすみパンフレット
8月	高齢者虐待、身体拘束 ※自己点検シート(職員用・管理者用) ※身体拘束ゼロへの手引き ※横浜市高齢者虐待防止事業指針	2月	重度化(看取り)への対応、家族支援 緊急時の対応(救急)
9月	サービスの質の向上 自己評価 ※結核予防週間9月24日から30日 ※結核の常識2018(横浜市リーフレット)	3月	外部評価、次年度年間計画

研修計画 外部研修(予定)

※自己啓発のための研修受講予定日を考慮して勤務シフトを組む、費用の援助などを相談検討する。  
 ・認知症介護基礎研修2名、認知症介護実践者研修1名

実施月	研修内容		
4月	栄ケアネット 定例会・研修 地域包括での研修	10月	栄消防署立入調査 地域包括での研修
5月	ケアマネ更新研修Ⅰ（1名） 地域包括での研修	11月	ケアマネ更新研修Ⅱ（1名） 地域包括での研修
6月	地域包括での研修	12月	地域包括での研修
7月	地域包括での研修	1月	地域包括での研修
8月	栄区 感染症研修 地域包括での研修	2月	横浜市地域密着型サービス指導講習会 地域包括での研修
9月	地域包括での研修	3月	地域包括での研修

イベント計画（避難訓練等含む）

実施月	イベント内容		
4月	お花見 ドライブ、散歩	10月	本郷台自治会 秋祭り／小菅ヶ谷小運動会 見学 フラワーアレンジメント 秋の運動会
5月	鯉のぼりドライブ、散歩 避難訓練(地震)消防署の指導 AED 等 運営推進会議 フラワーアレンジメント	11月	栄シニアクラブ連合会「趣味の作品展」出展・見学 運営推進会議 避難訓練(夜間想定避難訓練)
6月	春の運動会	12月	クリスマス会
7月	七夕 運営推進会議	1月	新年会 運営推進会議(外部評価の実施)
8月	流しそうめん 夏祭り	2月	節分 フラワーアレンジメント
9月	敬老の日 運営推進会議 作品展の作品作り 9～10月	3月	運営推進会議 お花見 避難訓練(火災)

※誕生会は、各月に原則として1回実施。当該月生まれの方をお祝いする。顔写真を貼りスタッフが寄せ書きした色紙プレゼント  
 当日出席の利用者とスタッフ全員でお祝い 誕生日ケーキをおやつにする

★以下の企画は、天候やご利用者の心身の状態が良好の場合に実施する

- ・自治会のイベント 秋祭り、防災訓練等への参加(随時) ・自治会主催「ふれあいサロン」への参加(対象:自治会居住者 随時)・近隣公園(舞岡公園、小菅ヶ谷北公園)等へのドライブ、お茶飲み、自然散策 ・公共の展示場「リリス」や「あーすぷらざ」での鑑賞イベントや展示会の見学(随時)・NPO「積み木」でのイベントへの参加、ハッピーランチ(食事会)への参加

(11) 健康診断等

- ・健康診断 1名 10月に実施予定
- ・インフルエンザ予防接種 20名に実施予定  
 ※健康診断:全国健康保険協会加入者対象:協会の補助を受け費用負担約8,000円/1人  
 ※インフルエンザ予防接種 年1回費用負担3,000円/1人

(12) 苦情・相談対応 苦情処理規程のとおりとする。

利用者からの相談・苦情対応 : 公的機関も含め「重要事項説明書」に明記

(13) 外部監査等(介護情報公表など)

- ① 運営推進会議 2ヵ月毎 年6回 実施活動報告及び活動の改善について会議を行う。  
 メンバー:包括支援センター職員、区職員、自治会役員、民生・児童委員、福祉に知見のある地域ボランティア、家族、利用者
- ② 外部評価 職員「自己評価」、事業所「自己評価」をもとに、運営推進会議のメンバーから評価を受ける。
- ③ 介護サービス情報の公表制度、毎年1回、介護サービス情報を指定情報公表センターに報告。

(14) 検討課題及びその他

- ①開所10年目となり、湯沸し器や入浴用のリフトのメンテナンス、入替え等、要検討

## 栄区地域子育て支援拠点にこりんく

- (1) 事業内容 事業名称：栄区地域子育て支援拠点にこりんく  
 (2) 横浜市桂町 711 番地「さかえ次世代交流ステーション」1 階  
 Tel・fax 045-898-1615  
 (3) 職員 15 名

職名	保育士	その他
常勤	5	
非常勤	8	2

- (4) 利用者数 16,954 名(平成 31 年度 1 月現在)  
 (5) 運営方針

## 子育て支援拠点事業の理念

事業目的 1 安心して子どもを産み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成する。

事業目的 2 子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与する。

おやこの居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用する人を温かく迎え入れ、安心してくつろいで過ごせる場を提供する。</li> <li>・多様な世代、性別などの養育者と子どもが訪れる場となるよう、様々な取り組みを行う。</li> <li>・養育者と子どものニーズを把握する。</li> <li>・親(養育者)自身が親として育ち、また子どもが育つ場となるよう支援する。</li> </ul>
子育て相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養育者とスタッフの間に安心して相談できる信頼関係をつくり、気軽に相談ができる場を提供する。</li> <li>・発達、不適切な養育など、専門的対応を要する相談を受け止め、関係機関と連携し、また必要に応じて継続したフォローを行う。</li> <li>・プライバシーに配慮し、相談しやすい環境を整える。</li> </ul>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て情報を収集し、発信・提供する。</li> <li>・利用者自身がサークル等の子育て情報を発信できる場を提供する。</li> <li>・情報収集、提供の仕組みづくりに利用者が積極的に参加できるよう工夫をする。</li> </ul>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て支援活動を活性化するため、新たな子育て支援人材を育成する。</li> <li>・地域で子育て支援に関わっている方へ、スキル向上にむけた研修会や勉強会を実施する。</li> </ul>
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て支援活動を活性化するためのネットワークを構築、推進する。</li> <li>・ネットワークを活かして、拠点利用者をより身近な地域に繋ぐ役割を担う。</li> <li>・当事者間のネットワークを構築、推進し、当事者による子育て支援活動を応援する。</li> </ul>
子育てサポートシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して子育てができるよう、地域ぐるみでの子育て支援や、仕事と育児を両立できる環境を作ることを目的とした会員制の有償の支え合い活動のサポートを行う。</li> </ul>
利用者支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て期のいろいろな悩みごと、困りごとなどについて、専任スタッフが相談者の気持ちに寄り添いながら必要な情報を調べ、適切な支援機関の紹介を行う。</li> </ul> <p>(個室相談・ひろばでの相談・専用ダイヤル相談)</p>

(6)開設時間 10時～16時(休館日:日・月・祝 年末年始) ※月曜日が祝休日の際は火曜日休み

(7)収入内訳 利用料0円(入館料無料)

(8)資金計画 事業委託 34,267,280円

(9)年間行事計画

月	主な活動	備考(年度内調整)
4月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ◇育児教室(小菅ヶ谷)	<b>※子育てサポートシステム</b> ①入会説明会毎月2回(土)含む 出張説明会(地域に出向いて) ②研修会&交流会(提供会員・利用会員)年6回 <b>※利用者支援事業</b> ①親と子のつどいの広場 2か所定期訪問 ②幼稚園、保育園、サロン 子育て支援者会場 その他への出張 <b>【地域ケアプラザとの連携】</b> 子育て講座実施 6地区 年1回～ <b>【区との連携】</b> ①育児教室講師 7地区 年1回 ②両親教室協力 年5回 ③さかえっこの笑顔ひろげ隊 事務局:区・区社協 主任児童委員・拠点 年6回 <b>【子育て支援団体連絡会主催】</b> 事務局として年5回開催 分科会研修・交流会の実施 <b>【幼稚園・保育園との連携】</b> 情報提供・共有等 交流事業の検討 <b>【その他】</b> <b>※毎月第4月曜日</b> 子育て部門ミーティング・研修
5月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●防犯のお話(栄警察署)	
6月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●ひまわりの会 ★パパママ一緒にふれあい遊び ●孫育て講座 ◆両親教室◇育児教室(区役所)	
7月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●にこりんくの七夕 ■本音トーク「意見交換会」共催:区・拠点 ☆パパたち集まれ ◇育児教室(笠間)	
8月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●水遊び ●消防署による事故予防について	
9月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●ひまわりの会(講座) ●ステーション祭り(☆パパたち集まれ)★パパママ一緒にふれあい遊び ◆両親教室◇育児教室(リエゾン笠間・上郷)	
10月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●秋のミニコンサート ●救急救命法 日本赤十字 ★パパたち集まれ ◇保育園入園準備講座 ◇育児教室(中野・豊田)	
11月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●区民祭り ★パパママ一緒にふれあい遊び	
12月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●にこりんく虹のふれあいコンサート(☆パパ達集まれ) ◆両親教室	
1月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●ひまわりの会 ●合同保育講座(共催:公立保育園・にこりんく) ★パパママ一緒にふれあい遊び	
2月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●豆まき ●応急処置法 日本赤十字 ☆パパたち集まれ	
3月	●発達・交流・リフレッシュプログラムの提供 ●にこりんくひなまつり ●ボランティア、講師交流会 ●入園を控えたみなさんへ ●防災講座 ★パパママ一緒にふれあい遊び ◆両親教室	

**親と子のつどいの広場**  
**OYAKO CLUB チューリップ おやこのひろば**

(1) 事業内容 事業名称：OYAKO CLUB チューリップ おやこのひろば

(2) 所在地 栄区上郷町 106-1 第 2 ミサキビル 101 号  
Tel・fax 045-892-1030

(3) 職員 5 名

職名	保育士	その他
常勤	0	0
非常勤	1	4

(4) ひろば利用者数 2,678 名（平成 30 年 4 月～平成 31 年 1 月現在）

(5) 運営方針

**子育て支援拠点事業の理念**

「命を大切に」「ふれあいの輪を広げる」「今という瞬間、その時を大切に」の法人理念をもとに地域や様々な機関とつながりを築き子育て支援の輪を広げる。

おやこの居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用する人を温かく迎え入れ、のんびりしてくつろいで過ごせる場を提供する。</li> <li>・初めての方や 1 組で来られた利用者が孤立しないよう会話に配慮し、安心して過ごせるように働きかける。</li> <li>・お迎え、お見送りは、特に大切な時間と意識して安心安全を心掛ける。帰宅の際は穏やかな気持ちで帰れるよう温かく見送る。</li> </ul>
子育て相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が一人で悩みを抱え込まないよう、スタッフは身近な相談相手となるよう努め、話しやすい雰囲気づくりを心掛ける。相談者に対して役立つ情報を提供する。</li> <li>・利用者から相談を受けた場合、丁寧に寄り添い傾聴を心掛ける。受容と共感を通して相談者が自ら解決への手立てが出来るよう寄り添い支援する。</li> <li>・横浜子育てパートナーが定期訪問し利用者への情報提供や個別の相談を行う。</li> </ul>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報コーナーを設け、区内外からの多様な情報を気軽に閲覧出来るように工夫する。</li> <li>・利用者が特に必要としている幼稚園、保育園、一時保育や子どもの遊び場、保育園の園庭開放などの情報をひろばに掲示し伝えていく。</li> <li>・2 ヶ月に一度ひろば通信を発行しホームページでも発信していく。おやこのひろばのプログラム活動等情報提供を行う。</li> </ul>
子育て支援に関する講習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日ランチ前と閉館前に手遊びや絵本の読み聞かせ等を行う。</li> <li>・季節の製作を親子で楽しむ時間を設ける。</li> <li>・定期的に小麦粉粘土や新聞紙遊び、お誕生会等を行う。</li> <li>・近隣の施設において親子で楽しめる講座を 6 回開催する。 (中野地域ケアプラザで年 4 回、桂台地域ケアプラザで年 1 回、上郷地区センターで年 1 回)</li> <li>・栄区地域子育て支援拠点と連携して年 2 回イベントを開催する。</li> </ul>

(6) 開設時間 10時～15時（休館日：土日祝日・第4月曜日・夏季・年末年始）

(7) 収入内訳 ひろば利用料 100円／日

(8) 資金計画 補助金（基本助成） 4,775,000円 補助金（家賃加算） 720,000円  
ひろば利用料 187,600円

(9) 年間行事計画案

月	主 な 活 動
4月	・鯉のぼり製作・手遊び・絵本読み・親子遊び・新聞紙遊び ・小麦粉粘土遊び・お誕生会・赤ちゃんの日・わらべ歌
5月	・ミニ運動会[中野地域ケアプラザ]・手遊び・絵本読み・親子遊び ・新聞紙遊び・小麦粉粘土遊び・お誕生会・赤ちゃんの日・わらべ歌
6月	・リユース・七夕飾り・手遊び・絵本読み・親子遊び・新聞紙遊び ・小麦粉粘土遊び・お誕生会・赤ちゃんの日・わらべ歌
7月	・夏祭り[中野地域ケアプラザ]・手遊び・絵本読み・親子遊び・新聞紙遊び ・小麦粉粘土遊び・お誕生会・赤ちゃんの日・わらべ歌
8月	・ごろりんアート・手遊び・絵本読み・親子遊び・新聞紙遊び ・小麦粉粘土遊び・お誕生会・赤ちゃんの日・わらべ歌
9月	・お話で遊ぼう[上郷地区センター]・マザーズハローワーク・手遊び ・絵本読み・親子遊び・新聞紙遊び・小麦粉粘土遊び・お誕生会 ・赤ちゃんの日・わらべ歌
10月	・プレイアート[中野地域ケアプラザ]・保育コンシェルジュ ・ハロウィン（仮装）・手遊び・絵本読み・親子遊び ・新聞紙遊び・小麦粉粘土遊び・お誕生会・赤ちゃんの日・わらべ歌
11月	・親子ヨガ[桂台地域ケアプラザ]・手遊び・絵本読み・親子遊び ・新聞紙遊び・小麦粉粘土遊び・お誕生会・赤ちゃんの日・わらべ歌
12月	・お楽しみ会・手遊び・絵本読み・親子遊び・新聞紙遊び ・小麦粉粘土遊び・お誕生会・赤ちゃんの日・わらべ歌
1月	・節分遊び（ウイーク）・手遊び・絵本読み・親子遊び・新聞紙遊び ・小麦粉粘土遊び・お誕生会・赤ちゃんの日・わらべ歌
2月	・からだを使って遊ぼう[中野地域ケアプラザ]・お雛様製作（ウイーク） ・手遊び・絵本読み・親子遊び・新聞紙遊び・小麦粉粘土遊び・お誕生会 ・赤ちゃんの日・わらべ歌
3月	・顔出しお雛様（ウイーク）・手遊び・絵本読み・親子遊び・新聞紙遊び ・小麦粉粘土遊び・お誕生会・赤ちゃんの日・わらべ歌

**親と子のつどいの広場**  
**OYAKO CLUB チューリップ おやこの駅ひろば**

(1) 事業内容 事業名称：OYAKO CLUB チューリップ おやこの駅ひろば

(2) 所在地 横浜市栄区笠間 4 - 11 - 6 グランフォレスト 1 階 B  
Tel・fax 045-895-6320

(3) 職員 5 名

職名	保育士	その他
常勤	0	0
非常勤	2	3

(4) ひろば利用者 3,309 名(平成 30 年 4 月～平成 31 年 1 月現在)  
一時預かり児童数 96 名(平成 30 年 4 月～平成 31 年 1 月現在)

(5) 運営方針

**子育て支援事業の理念**

「命を大切に」「ふれあいの輪を広げる」「今という瞬間、その時を大切に」の法人理念をもとに、地域や様々な機関とのつながりを築き子育て支援の輪を広げる。

おやこの居場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児とその保護者が集いのんびり過ごせる場を作る。</li> <li>・利用者同士が打ちとけた雰囲気の中で語り合い交流できるようにする。</li> <li>・安全で安心できる場を提供する。</li> </ul>
子育て相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が一人で悩みを抱え込まないよう、スタッフは身近な相談相手となるよう努める。</li> <li>・相談者が自ら解決への手立てができるよう寄り添い支援する。</li> <li>・個別ケースについては、地域子育て支援拠点や横浜子育てパートナー、行政等の専門的な関係機関と連携をとる。</li> <li>・横浜子育てパートナーが定期訪問し利用者への情報提供や個別の相談を行う。</li> </ul>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おやこの駅ひろば通信を 2 カ月ごとに発行し、プログラム活動などの情報提供を行う。</li> <li>・情報コーナーを設け、区内外からの多様な情報を気軽に閲覧できるように工夫する。</li> <li>・地域の情報収集や提供を行い、利用者が積極的に地域活動に参加できる環境を設定する。</li> </ul>
子育て支援に関する講習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が子育てについての情報や知識を高められるよう、子育てに関する地域の講習や講座などの掲示や案内を行い、利用者が参加できる機会を増やしていく。</li> <li>・スタッフは内外部の研修や講習会などに積極的に参加し知識の向上や専門性を高めるよう努める。</li> </ul>



- (6) 開設時間 9時30分～15時30分  
(休館日：土・日・祝日・第4月曜日、夏季、年末年始)
- (7) 収入内訳 ひろば利用料：一日100円  
一時預かり利用料：一時間400円
- (8) 資金計画 補助金（基本助成）：5,286,000円  
補助金（家賃加算）：720,000円  
補助金（一時預かり加算）：1,536,000円  
ひろば利用料：213,300円  
一時預かり利用料：192,000円

## (9) 年間行事計画

月	主な活動
4月	・手遊び・読み聞かせ・親子遊び・米粉粘土・ベビーマッサージ ・避難訓練・こいのぼり製作ウィーク・横浜子育てパートナー相談
5月	・手遊び・読み聞かせ・新聞紙遊び・リトミック・おはなしの日・母の日製作 ・ベビーマッサージ・横浜子育てパートナー相談
6月	・手遊び・読み聞かせ・親子遊び・シャボン玉・ベビーマッサージ ・手形アート・出張ひろば・横浜子育てパートナー相談
7月	・手遊び・読み聞かせ・ベビーマッサージ・水遊び(3回)・七夕飾り ・マザーズハローワーク・出張ひろば(共催事業)・横浜子育てパートナー相談
8月	・手遊び・読み聞かせ・米粉粘土・水遊び(4回)・ベビーマッサージ ・横浜子育てパートナー相談
9月	・手遊び・読み聞かせ・シャボン玉・折り紙遊び・ベビーマッサージ ・避難訓練・出張ひろば・横浜子育てパートナー相談
10月	・手遊び・読み聞かせ・新聞紙遊び・ベビーマッサージ・ハロウィン ・保育コンシェルジュ・出張ひろば(共催事業)・横浜子育てパートナー相談
11月	・手遊び・読み聞かせ・親子遊び・リトミック・おはなしの日・足形アート ・ベビーマッサージ・横浜子育てパートナー相談
12月	・手遊び・読み聞かせ・親子遊び・米粉粘土・ベビーマッサージ ・クリスマス会・出張ひろば・横浜子育てパートナー相談
1月	・手遊び・読み聞かせ・親子遊び・折り紙遊び・ベビーマッサージ・節分製作 ウィーク・横浜子育てパートナー相談
2月	・手遊び・読み聞かせ・新聞紙遊び・ベビーマッサージ・節分の日・おひなさま 製作ウィーク・出張ひろば・横浜子育てパートナー相談
3月	・手遊び・読み聞かせ・リトミック・折り紙遊び・おはなしの日・ひな祭り ・ベビーマッサージ・横浜子育てパートナー相談

### 乳幼児一時預かり事業（通常型）

- (1) 事業内容 事業名称：乳幼児一時預かり OYAKOCLUB チューリップ保育室
- (2) 所在地 横浜市栄区公田町 4 9 7-7 こみね第一ビル 1F  
Tel・fax 045-894-6262
- (3) 職員 11 名

職名	保育士	その他
常勤	1	
非常勤	5	5

- (4) 利用者数 2,999 名（平成 30 年 4 月から平成 31 年 1 月末現在）
- (5) 運営方針

#### OYAKOCLUB チューリップ保育室理念

事業目的 1 《一緒に遊ぼう！一緒に笑おう！一緒に話そう！》「子育てを一人で頑張らないで！」というメッセージを常に発信し、子育て中の親子を地域でサポートすることを目的とする。

事業目的 2 一人ひとりの発達に応じた生活リズムを大切にし、安全で清潔な環境のなか健康で過ごせる環境を保障する。

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの個性を大切に、成長に応じた声掛けをし暖かい目線で気を配る。</li> <li>・子どもたちが笑顔で安全に過ごせるよう配慮する。</li> <li>・対面遊びやふれあい遊びなどを多く取り入れ、保育者との信頼関係を構築する。</li> <li>・保育室で初めて出会ったお友だちとの交流がスムーズにいくよう保育者が関わり一緒に遊べるように配慮する。</li> </ul>
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康観察や身体測定を年間通して実施する。</li> <li>・感染症の早期発見。拡大防止に努める。</li> <li>・一人ひとりの様子を確認し体調の異変を丁寧に確認することで、感染症や虐待等の早期発見にも繋げる。</li> <li>・生活習慣を指導し（手洗い・うがい）新しい環境での流れや方法を伝えていく。</li> <li>・飲料水の濁りや臭い、異物の混入などの確認を行う。</li> <li>・衛生管理、食中毒、感染症など各種マニュアルを整備し実施する。</li> </ul>
安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月避難訓練の実施。（地震・火災・不審者）</li> <li>・施設、備品の安全点検および清潔の保持に努める。</li> <li>・乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防のためブレスチェックを徹底する。</li> <li>・ヒヤリハットの原因確認を行い、スタッフ間で情報の共有を行う。</li> <li>・遊具、玩具の安全点検、消毒を徹底する。</li> </ul>
家庭 ・ 地域 との 連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士による子育て相談を随時行う。</li> <li>・実家が遠く離れている養育者や初めての子育てに疲れている養育者に寄り添い、暖かく見守り、子育ての楽しさを伝えていく。</li> <li>・区福祉保健センター、区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどと連携し、特に気になるケースについては担当保健師、助産師と相談し対応する。</li> <li>・障害、軽度発達障害の専門機関との連携を図る。</li> </ul>

- (6)開設時間 9時～17時(休館日:日・祝 年未年始)
- (7)収入内訳 利用料 1時間300円
- (8)資金計画
- |             |             |
|-------------|-------------|
| 補助金         | 9,853,470円  |
| 震災対策物品購入補助金 | 30,000円     |
| 保育料         | 4,827,000円  |
| 合計          | 14,710,470円 |

(9)年間行事計画

月	主な活動
4月	歌→チューリップ 手遊び→はじまるよ 製作→こどもの日 身体測定・避難訓練
5月	歌→おはながわらった 手遊び→トントントントンアンパンマン 製作→てんとう虫 身体測定・避難訓練
6月	歌→あめのひくまのこ 手遊び→ちょきちょきダンス 製作→七夕 身体測定・避難訓練
7月	歌→どんな色が好き 手遊び→おべんとうばこのうた 製作→海の生き物 身体測定・避難訓練
8月	歌→飛んでったバナナ 手遊び→大きくなったら何になる 製作→夏祭り 身体測定・避難訓練
9月	歌→トンボのメガネ 手遊び→やさいのうた 製作→お月見 身体測定・避難訓練
10月	歌→虫の声 手遊び→ミッキーマウスマーチ 製作→ハロウィン 身体測定・避難訓練
11月	歌→おばけなんてないさ 手遊び→かみなりどんがやってきた 製作→クリスマス 身体測定・避難訓練
12月	歌→あわてんぼうのサンタクロース 手遊び→もみの木 製作→お正月 身体測定・避難訓練 虹のふれあいコンサート
1月	歌→たきび 手遊び→おにのパンツ 製作→節分 身体測定・避難訓練
2月	歌→ヤギのゆうびん 手遊び→コンコンクシヤンの歌 製作→おひなさま 身体測定・避難訓練
3月	歌→ふしぎなポケット 手遊び→3匹の子ブタ 製作→おおきくなったよ 身体測定・避難訓練、遠足

認可外保育

- (1) 事業内容 事業名称：OYAKOCLUB チューリップ保育室
- (2) 所在地 横浜市栄区公田町 4 9 7-7 こみね第一ビル 1F  
Tel・fax 045-894-6262

- (3) 職員 11 名

職名	保育士	その他
常勤	1	
非常勤	5	5

- (4) 利用者数 3,106 名（市内 2,999 名・市外 107 名）  
（平成 30 年 4 月から平成 31 年 1 月末現在）

- (5) 運営方針

**OYAKOCLUB チューリップ保育室理念**

事業目的 1 《一緒に遊ぼう！一緒に笑おう！一緒に話そう！》「子育てを一人で頑張らないで！」というメッセージを常に発信し、子育て中の親子を地域でサポートすることを目的とする。

事業目的 2 一人ひとりの発達に応じた生活リズムを大切にし、安全で清潔な環境のなか健康で過ごせる環境を保障する。

保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの個性を大切に、成長に応じた声掛けをしいつも暖かい目線で気を配る。</li> <li>・子どもたちが笑顔で安全に過ごせるよう配慮する。</li> <li>・対面遊びやふれあい遊びなどを多く取り入れ、保育者との信頼関係を構築する。</li> <li>・保育室で初めて出会ったお友だちとの交流がスムーズにいくよう保育者が関わり一緒に遊べるように配慮する。</li> </ul>
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じた健康観察や身体測定を実施する。</li> <li>・感染症の早期発見。拡大防止に努める。</li> <li>・一人ひとりの様子を確認し、体調の異変を丁寧に確認することで、感染症や虐待等の早期発見にも繋げる。</li> <li>・生活習慣を指導し（手洗い・うがい）新しい環境での流れや仕方を伝えていく。</li> <li>・飲料水の濁りや臭い、異物の混入などの確認を行う。</li> <li>・衛生管理、食中毒、感染症など各種マニュアルの整備し、実施する。</li> </ul>
安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月避難訓練の実施。（地震・火災・不審者）</li> <li>・施設、備品の安全点検および清潔の保持に努める。</li> <li>・乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防のためプレスチェックの徹底する。</li> <li>・ヒヤリハットの原因確認を行い、スタッフ間で情報の共有をする。</li> <li>・遊具、玩具の安全点検、消毒の徹底。</li> </ul>

家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士による子育て相談を随時行う。</li> <li>・実家が遠く離れている養育者や初めての子育てに疲れている養育者に寄り添い、暖かく見守り、子育ての楽しさを伝えていく。</li> <li>・区福祉保健センター、区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどと連携し、特に気になるケースについては担当保健師、助産師と相談し対応する。</li> <li>・障害、軽度発達障害の専門機関と連携を図る。</li> </ul>
-----------	--

- (6)開設時間 8時30分～18時 (休館日：日・祝 年末年始)
- (7)収入内訳 利用料 市外 500円/時間 時間外1200円/時間
- (8)資金計画 保育料 360,000円

(9)年間行事計画

月	主な活動
4月	歌→チューリップ 手遊び→はじまるよ 製作→こどもの日 身体測定・避難訓練
5月	歌→おはながわらった 手遊び→トントントントンアンパンマン 製作→てんとう虫 身体測定・避難訓練
6月	歌→あめふりクマの子 手遊び→ちょきちょきダンス 製作→七夕 身体測定・避難訓練
7月	歌→どんな色が好き 手遊び→おべんとうばこのうた 製作→海の生き物 身体測定・避難訓練
8月	歌→飛んでったバナナ 手遊び→大きくなったら何になる 製作→夏祭り 身体測定・避難訓練
9月	歌→トンボのメガネ 手遊び→やさいのうた 製作→お月見 身体測定・避難訓練
10月	歌→虫の声 手遊び→ミッキーマウスマーチ 製作→ハロウィン 身体測定・避難訓練
11月	歌→おばけなんてないさ 手遊び→かみなりどんがやってきた 製作→クリスマス 身体測定・避難訓練
12月	歌→あわてんぼうのサンタクロース 手遊び→もみの木 製作→お正月 身体測定・避難訓練 虹のふれあいコンサート
1月	歌→たきび 手遊び→おにのパンツ 製作→節分 身体測定・避難訓練
2月	歌→ヤギのゆうびん 手遊び→コンコンクシャンの歌 製作→おひなさま 身体測定・避難訓練
3月	歌→ふしぎなポケット 手遊び→3匹の子ブタ 製作→おおきくなったよ 身体測定・避難訓練・遠足

### 小規模保育事業チューリップ保育室

(1) 事業名称：小規模保育事業 チューリップ保育室

(2) 所在地：横浜市栄区桂町 2 7 5 番地 2 1  
Tel・fax 0 4 5 - 8 9 4 - 1 2 1 4

(3) 職員

職名	保育士	調理	事務
常勤	2	0	0
非常勤	9	2	2

(4) 定員 19 名

(5) 開設時間 7 時 45 分～18 時 45 分（休館日：日祝日・年末年始）

(6) 収入内訳 43,000,000 円

(7) 資金計画（案） 法人の『資金収支予算内訳』によるものとする

(8) 保育方針

- ・子どもの生きる力、育つ力を大切にする
- ・子どものつながる力・支え合う力を大切にする
- ・子どものその瞬間の思いを大切にする

(6) 保育内容

1. 家庭的な生活空間の中で乳幼児期の発達の特徴を踏まえ、生命の維持・情緒の安全・安心を図れるように援助していく
2. 子どもの生活や遊びを通して健やかに成長し、その活動がより豊かに展開される為の援助をする
3. 健康及び安全に配慮し、健康の増進に努め疾病等の対応を迅速に行う
4. 独自の畑で収穫を体験する事によって、食物への興味をもつ
5. 栄区地域子育て支援拠点にこりんくと連携し、保育者の支援を行う

(7) 保育目標

【0歳児年間目標】

- ・1人ひとりの発育に応じて、這う・立つ・歩くなど、十分に体を動かし心と体の発達を促す
- ・安心できる保育士との関係の中で、聞く、見る、触るなどの体験を通し身の周りに対する興味や好奇心の芽生えを育む

【1歳児年間目標】

- ・1人ひとりの子どもの気持ちを理解し、受容する事により子どもとの信頼関係を深め自分の気持ちを安定して表せるようにする
- ・様々な周りの物に興味を持ち十分に体を動かし、歩行や探索を楽しむ

【2歳児年間目標】

- ・自分の思いを言葉や行動で表現できるようになり、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる
- ・基本的な生活習慣の自立を目指し、身の周りの事を自分でしようとする気持ちをもつ

(8) 年間行事計画案

4月	入園・進級・お花見・卒園児集まれ	お誕生日会・避難・消火訓練
5月	子どもの日・園庭開放	お誕生日会・避難・消火訓練
6月	じゃがいもほり・歯科健診・健康診断	お誕生日会・避難・消火訓練
7月	七夕・水遊び	お誕生日会・避難・消火訓練
8月	水遊び	お誕生日会・避難・消火訓練
9月	水遊び・お月見・健康診断・保育参観	お誕生日会・避難・消火訓練
10月	さつまいもほり・個人面談・保育参観	お誕生日会・避難・消火訓練
11月	保育交流会・保護者講座	お誕生日会・避難・消火訓練
12月	クリスマス会・虹のふれあいコンサート	お誕生日会・避難・消火訓練
1月	お正月遊び・歯科健診	お誕生日会・避難・消火訓練
2月	節分・歯科健診	お誕生日会・避難・消火訓練
3月	健康診断・ひな祭り・お別れ会・個人面談	お誕生日会・避難・消火訓練

【保護者支援として年3回、栄区地域子育て支援拠点にこりんく・栄区役所と連携していく】

(9) 連携施設

- ・宗教法人 永林寺 かつら愛児園  
横浜市栄区公田町484
- ・学校法人 みのる学園 新大船幼稚園  
横浜市栄区小菅ヶ谷町3-45-38

(10) 嘱託医

- ・さかい医院  
横浜市栄区公田町497-7
- ・大矢歯科医院  
横浜市栄区公田町514-5 柳沢ビル1階

### 栄区青少年の地域活動拠点 フレンズ☆SAKAE

(1) 事業内容 事業名称：栄区青少年の地域活動拠点 フレンズ☆SAKAE

(2) 所在地 横浜市桂町 711 番地「さかえ次世代交流ステーション」2 階

Tel・fax 045-898-1400

(3) 職員 2 名

職名	保育士	その他
常勤		
非常勤		2 名

(4) 利用者数 4,911 名(平成 30 年 4 月から平成 31 年 1 月末現在)

(5) 運営方針

#### 青少年の地域活動拠点事業の理念

事業目的 中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、自由にくつろげる場や同世代の仲間や異世代と交流する機会の提供、地域資源を活用した社会参加・職業体験プログラムなどを学校や地域の協力を得ながら実施、青少年の成長を支援することを目的とする。

青少年が気軽に集い、自由に活動する場の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの個性や育ちを大切に、利用者との信頼関係を築き、安心して過ごすことのできる場を提供するとともに、それぞれの特性を活かした活動が行えるよう環境を整え、意識を高めていく。</li> </ul> <p>●青少年の居場所事業 ●体験活動事業 ●学習支援事業 ●ステーション交流事業</p>
青少年が仲間や異世代と交流する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高校生世代が自主的かつ積極的に活動と呼べるものに向かえるよう、さまざまな体験プログラムを実施、その体験を通して、同世代や異世代と交流する機会を提供する。</li> </ul> <p>●青少年の居場所事業（再掲） ●体験活動事業 ●ステーション交流事業</p>
青少年を対象とした地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活用した各種ボランティアを企画・実施し、学校生活とは異なった社会的な経験ができるような活動を行う。活動を通して地域の大人と関わることで、コミュニケーション力を養い、自己肯定感を高める。</li> </ul> <p>●ティーンズクリエイション ●ボランティア体験活動 ●栄区民まつり ●SAKAE ヤングフェスティバル</p>
青少年育成に取り組む支援者の情報交換やネットワークづくり及び人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>育ちの連続性を大切に、区内小中学校校長会、区内高校、民生委員主任児童委員、青少年指導委員、PTA 連絡協議会、子育て支援団体連絡会等と連携して、地域の団体や個人支援者となつがり、区内の青少年支援を行う。</li> </ul> <p>●青少年支援ネットワーク ●大人のための NEXT GENERATION 講座</p>
保護者へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高校生の保護者を中心とした地域の大人向けの講座を企画、実施する。思春期の特性への理解を深め、地域で育てていく意識を高めていく。</li> </ul> <p>●大人のための NEXT GENERATION</p>



(6)開設時間 火・水・金 15時～20時  
土 10時～18時 (休館日：日・月・木・祝 年末年始)

(7)収入内訳 プログラム参加費、カフェ利用料等 400,000円(入館料無料)

(8)資金計画 4,390,000円(市補助金 3,990,000円)

(9)年間行事計画

月	主な活動
4月	進級祝い 利用者企画
5月	母の日のカード作り 利用者のデザイン
6月	父の日のカード作り 利用者のデザイン
7月	陶芸体験 地域の陶芸の団体
8月	いたち川まつり 利用者による出店 各種ボランティア活動 ステーションまつり作品作り 利用者による企画
9月	ステーションまつり ステーション内の他事業所や地域の方と一緒に
10月	栄区民まつりに向けての企画
11月	栄区民まつり 虹の出店および区役所のボランティア
12月	虹のふれあいコンサート 虹の子育て部門と一緒に
1月	書道体験 協力：栄区書道協会
2月	バレンタイン 利用者企画
3月	SAKAEヤングフェスティバル 連携・協力：青少年指導員協議会